持ち帰り可

令和8年度 山口県立大学 別科助産専攻

特別選抜・一般選抜

入学試験「小論文」問題

試験開始の指示があるまで、この中を見てはいけません。

注意事項

1 試験開始後に「問題」、「解答用紙」の印刷不鮮明、汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。

2 解答はかならず「解答用紙」（白紙）に記入してください。「下書き用紙」（色紙）も配布しますが、間違って「下書き用紙」（色紙）に解答を記入しないようにしてください。

3 不正行為について

① 不正行為については厳正に対処します。
② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。
また、受験した全ての科目の成績を無効とします。

4 試験終了後、「問題」と「下書き用紙」は持ち帰ってください。

問題

妊娠期における健康教育・保健指導は、母体と胎児の健康を守る上で欠かせない役割を担っています。これまでに学んだ看護学の知識や考えを踏まえ、妊娠期の女性に対してどのような健康教育・保健指導が必要であると考えるか、具体的な内容とその意義を含めて、あなた自身の視点から800字以内で述べなさい。

〈この問題で見る視点〉

○AP１　知識・技能

助産の基礎を学ぶために必要な看護学の知識と技術を身につけている。

○AP２　思考力・判断力・表現力

看護職としての論理的思考力・問題解決力・表現力を身につけている。

1. 出題の意図

妊娠期における健康教育・保健指導の重要性について、看護学の基礎的知識を踏まえ、対象者の特性や状況に応じた支援の在り方を論理的かつ的確に記述する能力を問う。また、医療者に求められる思考力・判断力・表現力を総合的に活用し、主体的な考察を展開できるかを併せて問う。